

AKITA JC NEWS

2026 AKITA JUNIOR CHAMBER INC.32

2-3月合併号



~Try for the future~



◆2月例会を終えて

人間力醸成委員会 委員／山田優人

2026年2月26日（木）、秋田青年会議所2月例会を開催いたしました。本例会は講師に「畑がない農家」として活躍する柿木崇誌氏をお招きし、「多角的視点を持つことで、課題発見力を高めよう。」をテーマに、地域や組織における現状を多角的に捉え、未来へとつなげる視点を養うことを目的として実施いたしました。当日は、グループディスカッションを中心に進行し、参加者それぞれが感じている課題や可能性について意見交換を行いました。多様な視点からの発言により、普段気づきにくい視点や新たな考え方に触れる機会となり、活発な議論が展開されました。また、ワークを通じて、課題をどのように伝え、行動につなげるかについて実践的に学ぶ場となりました。

さらに、講演では地域資源に新たな価値を見出した事例が紹介され、課題を価値へと転換する視点の重要性について理解を深めました。「違和感から始まる課題発見」「多角的な視点での深掘り」「小さな行動による仮説検証」という3つのステップが示され、参加者にとって今後の活動に活かせる学びとなりました。本例会を通じて、課題発見力の重要性を改めて認識するとともに、一人ひとりが主体的に行動していくことの必要性を共有する機会となりました。今後も秋田青年会議所は、地域とともに成長し続ける組織を目指して活動してまいります。



◆3月通常総会を終えて

総務・広報委員会 委員／森下元気

3月18日（水）に秋田市のANAクラウンプラザホテル秋田にて、2026年度3月通常総会を開催いたしました。

本総会では「2025年度事業報告及び決算報告並びに監査報告」の審議が行われました。審議に先立ち、2025年度の阿部専務理事、大山事務・財政局長、2026年度の靄山監事から各種報告がされました。2025年度の活動・運動を振り返ることで感慨深い時間でもありましたが、いざ審議の時間となると厳粛な雰囲気となり身が引き締まる思いでした。この議案は満場一致で可決・承認されましたので、2025年度の活動が正式に締めくくられ、改めて2026年度の活動・運動に邁進していこうと決意を固めることができました。また、総会が終了した後は、事務・財政局の主催によるスプリングパーティーが開催されました。冒頭に秋田ブロック協議会の山崎会長から2026年度の秋田ブロック協議会の方針や取り組みを説明していただき、参加したメンバー一同聞き入る場面もありましたが、会場は終始和やかで温かい雰囲気に包まれておりました。事務・財政局の皆様にご考案していただいたアトラクションで会場は非常に盛り上がり、メンバー同士が互いの距離を縮める貴重な機会となりました。今後も活動を継続していくための大変有意義な時間となったと感じております。



◆3月例会を終えて

未来共育委員会 副委員長／高橋玄徳

3月例会「あきたで働くっておもしろい！～未来のヒントがここにある～」では、子どもたちが地元企業を知り、実際に体験しながら仕事のおもしろさに触れられる機会づくりをテーマに株式会社エスツアの須藤晃平氏をお招きし講演とeスポーツ体験を実施しました。

あきたでは、進学や就職を機に県外へ進む若者が増えており、その背景には、地元企業の情報に触れる機会が少ないまま育つ子どもたちが多いという現状があります。地域にどんな企業や仕事があるのかを知らないまま進路を選んでしまうと、将来の選択肢が狭まってしまう可能性があります。こうした課題を解決するためにも、まずは子どもたちが地元企業を知り、体験を通してその魅力や可能性に気づく場が必要だと考え、本例会を企画しました。当日は多くの子もたちが参加し、企業の方々と直接コミュニケーションを取りながら、実際の仕事に触れる姿が見られました。普段は知ることでできない企業の取り組みや仕事の裏側に触れ、「あきたにはこんな企業があるんだ」と驚きや発見を口にする子どもたちの様子が印象的でした。体験を通して、地元企業の魅力や働くことのおもしろさを実感してもらえたと感じています。事後アンケートでも、「とても楽しかった！」「すごく面白かった！」「地元企業に興味があった」といった声が多く寄せられ、本例会の目的である“気づき”と“体験による理解”がしっかりと生まれたことを実感しています。

今回の例会をきっかけに、子どもたちが将来を考える際の選択肢が広がり、あきたへの関心や愛着が育まれていくことを期待しています。当委員会としても、本事業を通して多くの学びと気づきを得ることができました。子ども達の未来につながる活動に取り組んでまいります。

